



ネイチャーセンターだより

2020年8月号

新・いきもの図鑑



エゾハコベ (ナデシコ科)

ハコベという道ばたのありふれた草というイメージがありますが、エゾハコベが見られるのは国内では北海道・青森県のごく一部だけ。高さ約15cm、花の直径も8mm位しかありませんが、目を近づけて見ると花びらがくっきりと白く、葉は肉厚で、なかなか印象的です。

春国岱では、ヒバリコースの木橋付近からキタキツネコースぞいで6～8月に花を咲かせます。エゾハコベはアッケシソウやウミミドリのように、普通の植物が生えない塩分の強い湿地を好む「塩生植物」なのです。そして他の塩生植物同様、数の減少が心配されています。皆さんに知っていただき、大切にしてください。

【参考文献】
青森県, 2020. 青森県レッドデータブック (2020年版).
梅沢俊, 2018. 北海道の草花. 北海道新聞社. 北海道.
北海道, 2001. 北海道レッドデータブック 2001.

NEWS

ハウロクシギの群れが見られました

8月2日、ネイチャーセンターの北側の根室湾の干潟に大型のシギの仲間が10羽休んでいました。嘴は細長く先が下の方に曲がり、体は全身茶色で、これらの特徴からハウロクシギと分かりました。

ハウロクシギは春と秋に渡来する旅鳥で、繁殖地は、カムチャツカからアムール川中流域にかけての湿原で、越冬地は、東南アジアからオーストラリアにかけての干潟です。春国岱周辺では、毎年、春と秋に時々観察されますが、ほとんどが1～3羽です。10羽以上のハウロクシギを見ることは、中々ありません。

過去の記録をさかのぼって、10羽以上観察された年を調べてみました(表1)。ネイチャーセンターの記録では、2014年5月以来6年ぶりでした。今年は、渡来数が多い年なのかもしれません。

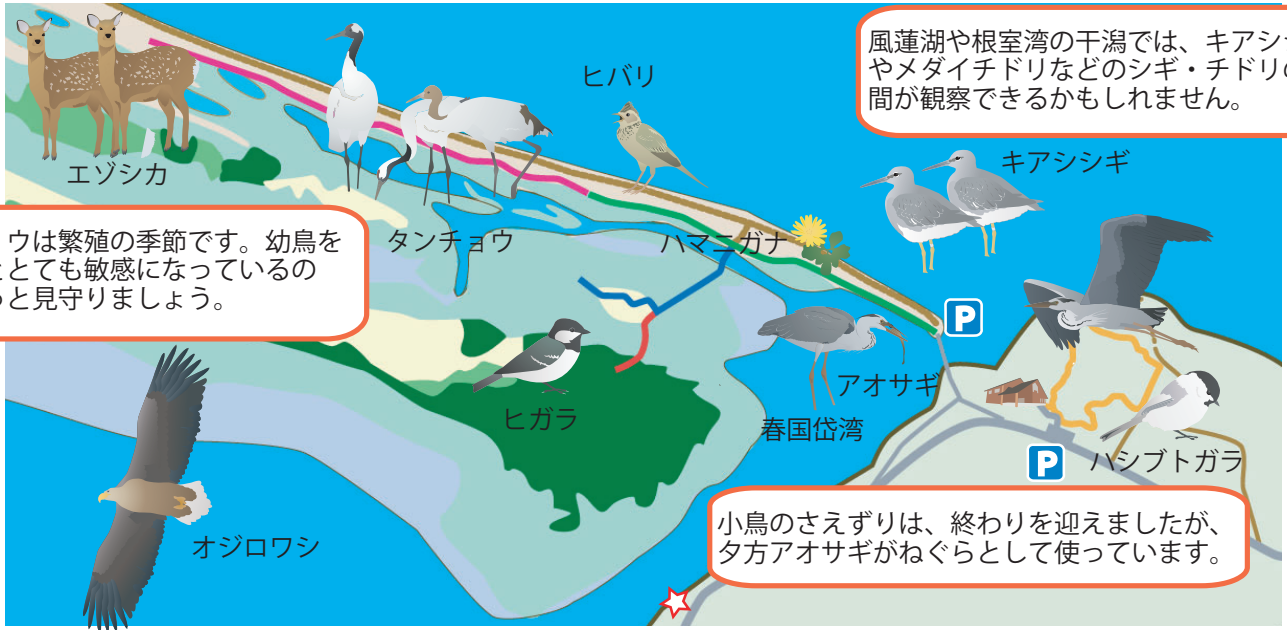
表1 10羽以上の群れが見られた記録

年	月	日	羽数	場所
2002	8	26	32羽	春国岱
2010	8	9または10	12羽	ルッチャル
2014	5	17	14羽	春国岱湾
2020	8	2	10羽	根室湾
2020	8	3	10羽+	風蓮川河口



2020年8月2日、根室湾で撮影

見どころMAP



タンチョウは繁殖の季節です。幼鳥を守ろうととても敏感になっているので、そっと見守りましょう。

風蓮湖や根室湾の干潟では、キアシシギやメダイチドリなどのシギ・チドリの仲間が観察できるかもしれません。

小鳥のさえずりは、終わりを迎えました。夕方アオサギがねぐらとして使っています。

- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

8月の見どころ予報

凡例

- ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ	○	樹木の枝や消波ブロックなどに止まっているところが見られる。干潮時には、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、エサを探していることもある。繁殖の季節が終わったため、風蓮湖周辺では巣立った幼鳥が観察できるかもしれない。
タンチョウ	○	タンチョウは、繁殖の季節。春国岱でも幼鳥1羽をつれたつがいが見られる。親鳥は、警戒心の強い時期なので、十分な距離を保って観察してほしい。順調にいけば、8月下旬から9月上旬には親子で飛ぶ姿が見られる。
シギ・チドリ類	+	干潮時刻前後に風蓮湖内の干潟や、根室湾ぞいの浜辺・干潟で採食する。過去、8月によく観察されているのは、メダイチドリ、ミヤコドリ、ホウロクシギ、キアシシギ、トウネン。今年はこの他、キョウジョシギ、タカブシギ、アカエリヒレアシシギも記録されている。
アオサギ	○	200羽前後の群が春国岱に集まり、干潮時に水辺でカレイやギンポなどの魚を捕らえる姿が見られる。夕方になると、群れの一部が自然学習林に集まり、ねぐらをとる。
春国岱	草原	さえずりはほとんど終わっているが、ノビタキやオオジュリンの幼鳥を見ることがある。
	森林	アカエゾマツコース・キタキツネコースでは、運がよくと枯木にとまっているクマガラが見られることがある。小鳥類のさえずりは、ほとんどの種類で終わっている。
自然学習林		さえずりはほとんどの種類で終わっているが、月の前半はウグイス、ミソサザイ、エゾセンニュウがさえずることがある。ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られ、時々巣立った幼鳥が見られることもある。※シマエナガは、今年あまり見かけない。
開花		自然学習林: クルマユリ・オオダイコンソウ・エゾトリカブト・ミミコウモリなど 春国岱: (草原) ナミキソウ・エゾオグルマ・ハチジョウナ・ハマニガナなど (塩性湿地) エゾツルキンバイ・エゾハコベ
危険生物		エゾイラクサ・ツタウルシには、さわらないようにご注意ください。細かなトゲがささったりかぶれたりします。マダニ・カ・ヌカカを防ぐため、虫よけ剤の塗布をおすすめします。自然学習林の周辺は、スズメバチなどのハチの仲間が見られます。刺されるおそれがありますので、手ではらったりにぎったりせず、その場でじっとして静かにやりすごすようにしてください。

2020年春～夏の春国岱のクマゲラ

春国岱では、かつてはクマゲラがたびたび観察されていましたが、2012年以降、生息情報が途絶えていました。2018年6月に春国岱の森で1羽が目撃され、6年ぶりの記録とまりました。そして、昨年10月のイベント中にもアカエゾマツコースでオス1羽が観察され、それ以降、3月までの越冬期に月1回ほどのペースで観察されました(表1)。

これをうけて、ネイチャーセンターでは、繁殖期の生息状況を探るため、4月から7月まで5回の早朝調査を行いました。調査では、オスを1回、メスを3回目撃しましたが、繁殖を示す目立った行動は見られませんでした(表2)。

クマゲラは、おそらく餌を探す場所の1つとして春国岱を利用しているのだと思われます。アカエゾマツコースの周辺の枯れた木には、クマゲラが餌を探すためにつついてあけた穴が多くあり、また、好物のムネアカオオアリも観察されています。

ネイチャーセンターでは、今後も春国岱でのクマゲラの生息状況を注視していきたいと思えます。もし、春国岱でクマゲラを観察したという方は、ネイチャーセンターに情報を提供していただければ幸いです。

※情報を寄せてくださった皆様、ありがとうございました。

表1 2019年10月～2020年3月までのクマゲラの記録

観察日	観察内容	観察者
10月14日	鳴き声、1羽を目撃	秋のハイキング参加者
10月18日	オス・メス各1羽を撮影	森南洋平さん
12月11日	鳴き声(1羽)	瀬法司理香さん
12月30日	鳴き声(1羽)	柳原風輝さん
2月27日	メス1羽を撮影	穴沢藤則さん
3月27日	鳴き声(1羽)	稲葉一将

表2 2020年4月～7月までのクマゲラの記録

観察日	観察内容	観察者
4月17日	鳴き声、ドラミング、メス1羽を目撃	古南幸弘・稲葉一将
4月24日	鳴き声、ドラミング	古南幸弘・稲葉一将
5月11日	鳴き声(1羽)	稲葉一将
6月19日	ドラミング、鳴き声、オス1羽を目撃	古南幸弘・稲葉一将
6月23日	オス1羽を撮影	沢本浩志さん
7月17日	メス1羽を確認	荒哲平・古南幸弘・稲葉一将
7月20日	メス1羽を確認	古南幸弘・稲葉一将
8月6日	ドラミング、オス?1羽目撃	来館者の方(匿名希望)



2020年6月19日撮影
アカエゾマツコースで観察したクマゲラのオス

春国岱クイズ

8月後半に秋風が吹くと、春国岱の木橋付近からキタキツネコースの木道のまわりの塩分の多い湿地で、アッケシソウ(ヒユ科)が、だんだん赤く色づいて来ます。アッケシソウの赤い色素は「ベタレイン」といい、多くの植物が持つ赤や赤紫色の色素(アントシアニン)とは別のもので、ごく限られた種類の植物しか持っていないそうです。

さて、それでは、アッケシソウと同じ色素で赤くなるのは、次のうちのどれでしょうか？

- ① ホウレンソウの根
- ② イロハカエデの紅葉
- ③ ハマナスの花



春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

●行事参加者募集！

春国岱秋のハイキング 10 / 4(日) 午前9時30分～12時

内容: 海岸から森まで約3km、アッケシソウの紅葉や湖でさかだちするカモ、エゾシカの群を見ながら歩きます。

服そう: 長ぐつ・長そで・長ズボン、歩きやすい服そうで。帽子・手袋。マスクをして来てください。

持ち物: 水筒、筆記用具、ひとくちおやつ。お持ちの方は双眼鏡

対象: 小学生以上(17歳以下の方は大人の方とご一緒に) 定員: 20人(先着順)

集合・解散: 春国岱駐車場

申込方法: 電話、メールまたはネイチャーセンターにご来館の時に。

参加者全員の氏名、小学生は学年もお知らせください。

☎: 0153-25-3047

✉: nemu_nc@marimo.or.jp



行事にご参加の方には、受付後、次のことをご確認いただきます。どうぞご理解ください。

□体調の不良(平熱を超える発熱、咳・のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れやすいなどの症状)がないこと。

□行事の日の14日前以降に新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がないこと。

□同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいないこと。

□行事の日の14日前以降に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との接触がないこと。

□行事保険では新型コロナウイルス感染症等特定感染症を対象としていないこと。

★工事のお知らせ: 春国岱橋は補修のため、8 / 24(月)～31(月)に車両通行止めになる予定です。
くわしい日程は、ホームページ・フェイスブックに掲載します。(歩いて通ることはできます)

募集中!

ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを常時募集しています。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月に1回、ミーティングを行い(基本的に最終火曜日)、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象: 18歳以上

◆年会費(ボランティア保険料含む): 1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることは遠慮ください



クイズのこたえ ① ホウレンソウとアッケシソウは同じヒユ科で、赤い色素は同じくベタレインです。ボルシチに使うビーツもヒユ科で、根の赤い部分はベタレインの色です。ヒユ科以外にサボテンやブーゲンビリアの花もベタレインで発色します。

出典 浅間茂. 2019. 虫や鳥が見ている世界. 中公新書. フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』アッケシソウ.

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

HP. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日: (開館時間9:00-17:00)

8月5・11・12・19・26日 9月2・9・16・23・24・25・30日

◆団体でご利用の方へ(事前予約制)

自然観察の案内やスライド上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録